

排出事業者における社内研修に関する アンケート調査結果

令和5年4月(令和5年9月更新)

JWセンター 調査部



1. はじめに

調査目的

- 排出事業者における環境や廃棄物処理に関する社内研修の実施状況を把握し、教育研修部のマネジメント研修会の参考情報を得る。
- 排出事業者における環境や廃棄物処理に関する社内研修の実施状況の事例に関する公表例は少ない。JWセンターのホームページや、学会発表等で調査結果を周知することで、排出事業者に対して様々な業種の社内研修の実施状況の参考情報を提供し、今後、各社で社内研修に活用いただく。

2. 方法

調査方法

電子マニフェスト加入の排出事業者の担当者メールアドレス宛に調査協力のメールを配信し、アンケートフォームにより回答を得た。

調査期間

令和4年9月26日～10月24日

メール送付先

令和4年3月31日現在のA・B料金の加入者のうち、複数件の加入による同一のメールアドレスの重複分を除いた36,542者

2. 方法

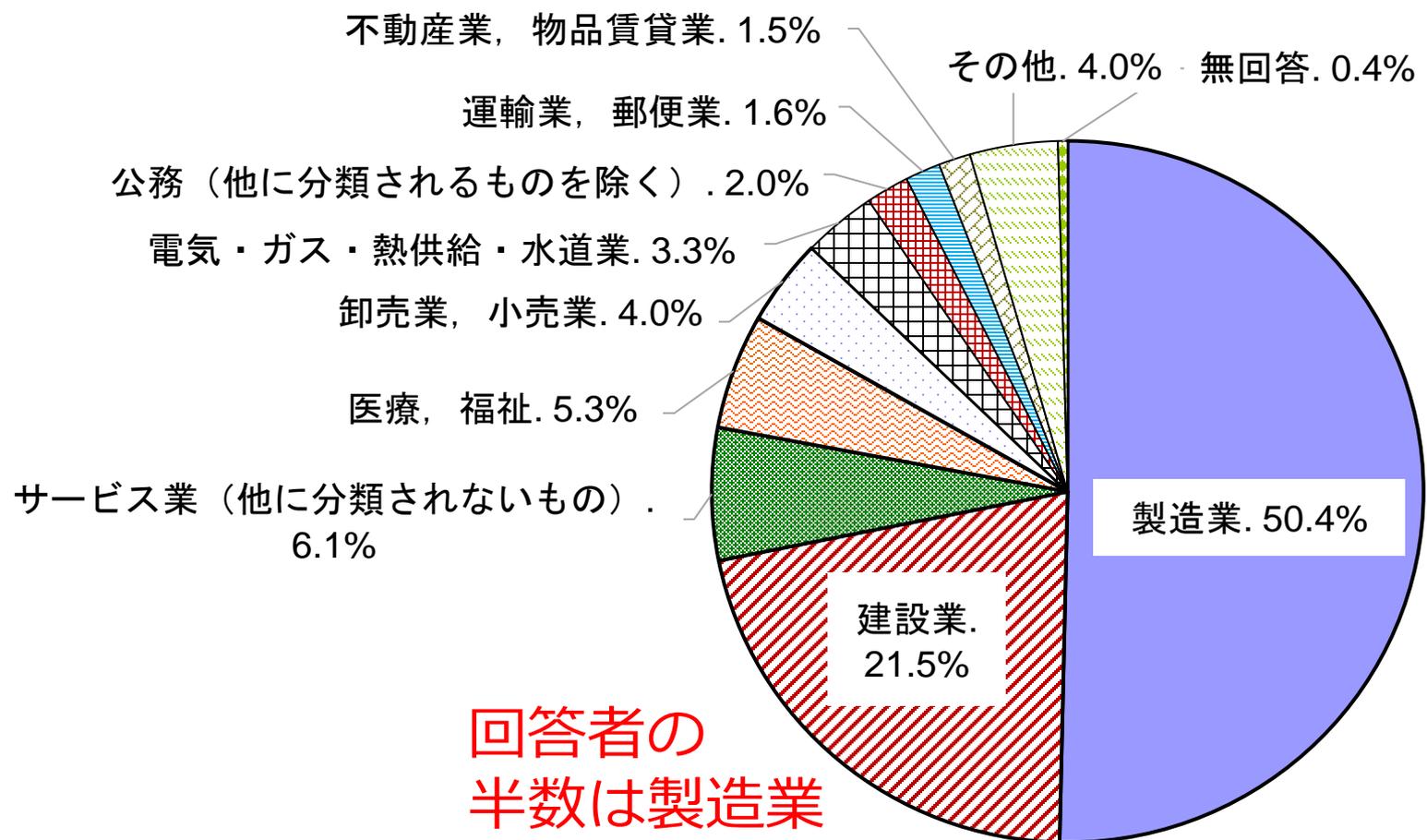
主な調査項目

- 回答者の業種
- 全従業員数
- 廃棄物排出に係る部署、環境部署、廃棄物の排出・処理全般に係る部署の従業員数
- ISO14000s認証の取得の有無
- 社内研修の実施の有無
- 社内研修の対象者、実施回数、実施方法、実施時間、実施人数
- 社内研修で苦労すること、課題解決のために工夫していること
- 参加しやすい社内研修の開催形態
- JWセンターのマネジメント研修会の認知度、社内研修として役立つか
- JWセンターの講習会・研修会への意見、要望

3. 結果 回答者の概要

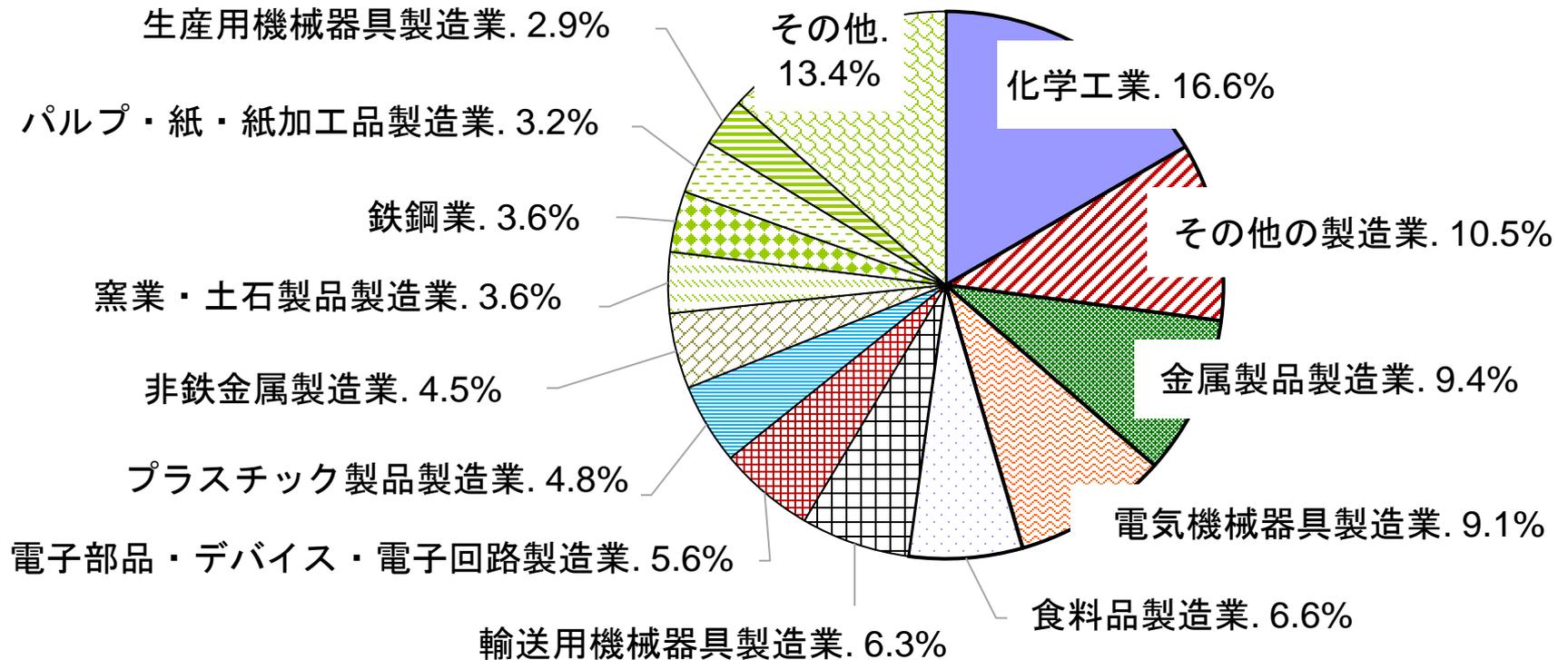
回答状況 回答数1,378者(回答率:3.8%)

回答者の業種(大分類) N=1,378



3. 結果 回答者の概要

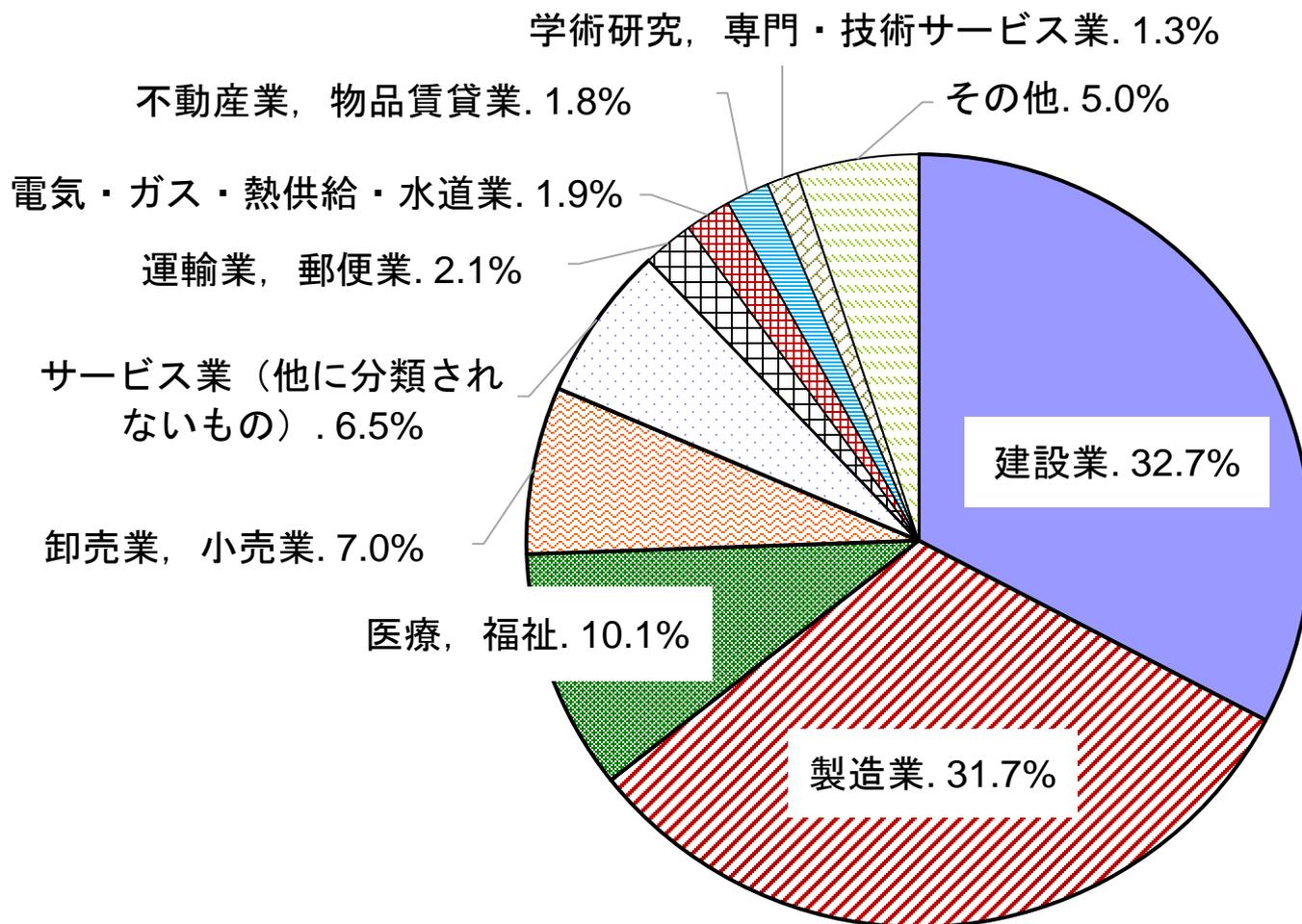
製造業における業種(中分類)の内訳(単一回答) N=694



製造業のうち最も回答者が多かった業種(中分類)は、化学工業であった。その他、様々な製造業から回答が得られた。

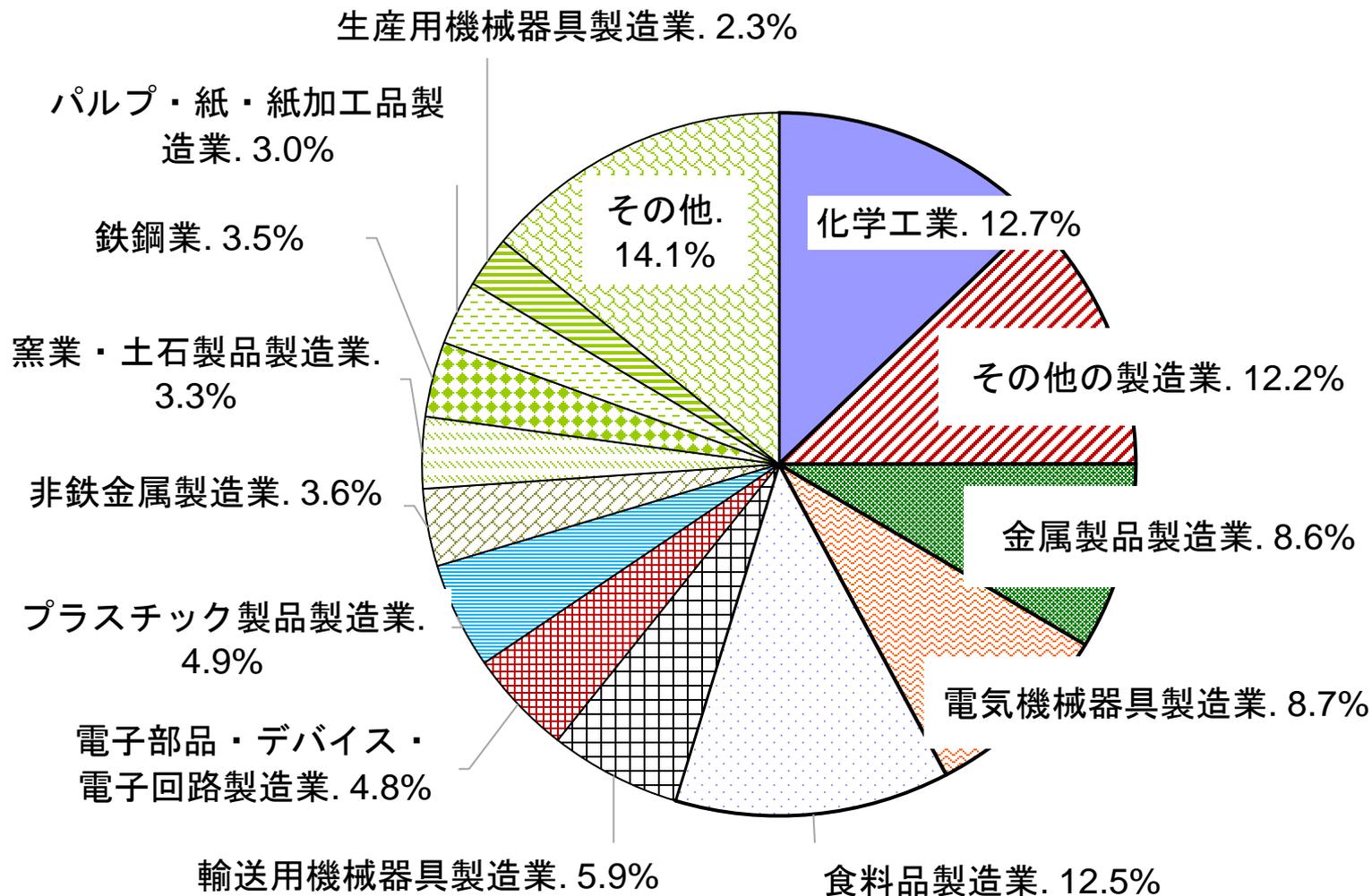
参考資料 アンケート依頼先の業種

令和4年3月31日現在のA・B料金の加入者のうち、複数件の加入による同一のメールアドレスの重複分を除いた36,542者の業種(大分類)



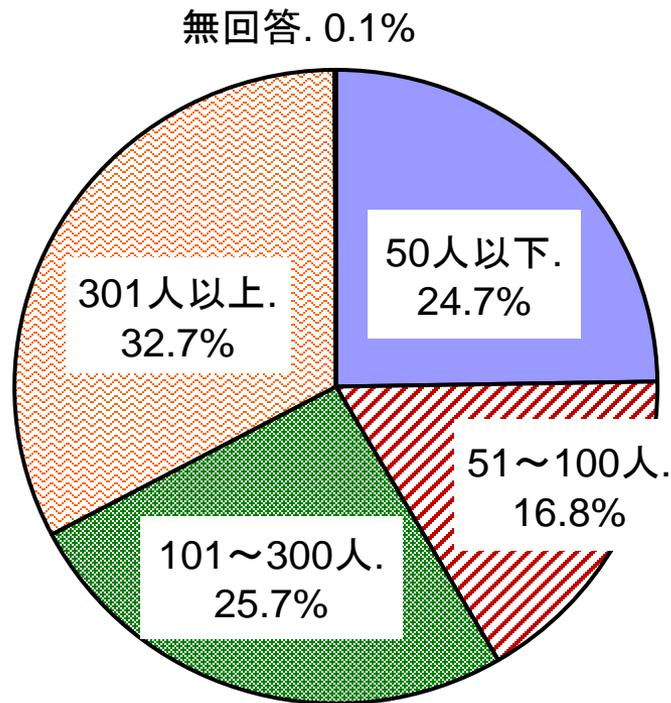
参考資料 アンケート依頼先の業種

スライド6における製造業の内訳(中分類)

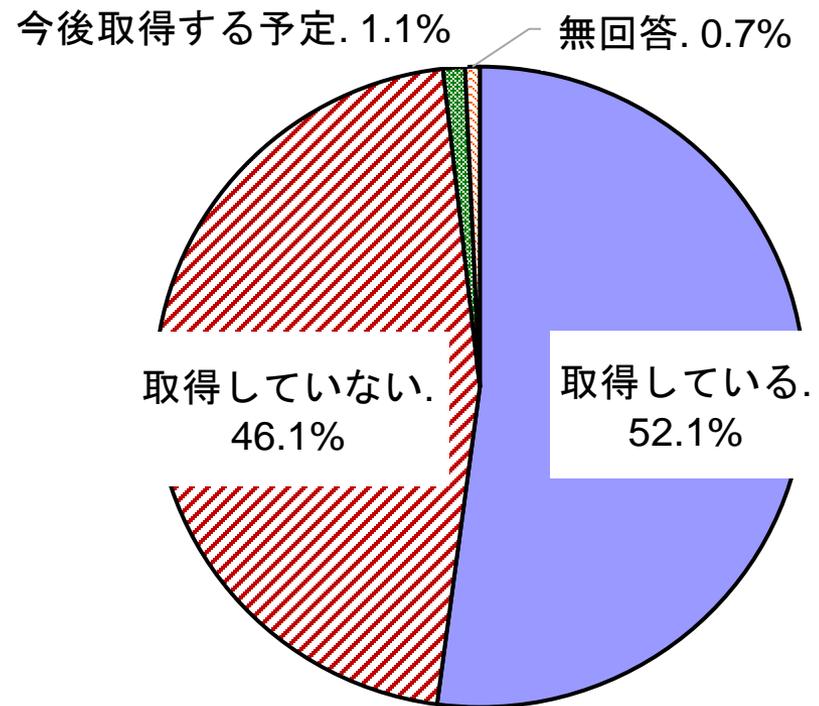


3. 結果 回答者の概要

回答者の従業員数の内訳
(単一回答) N=1,378



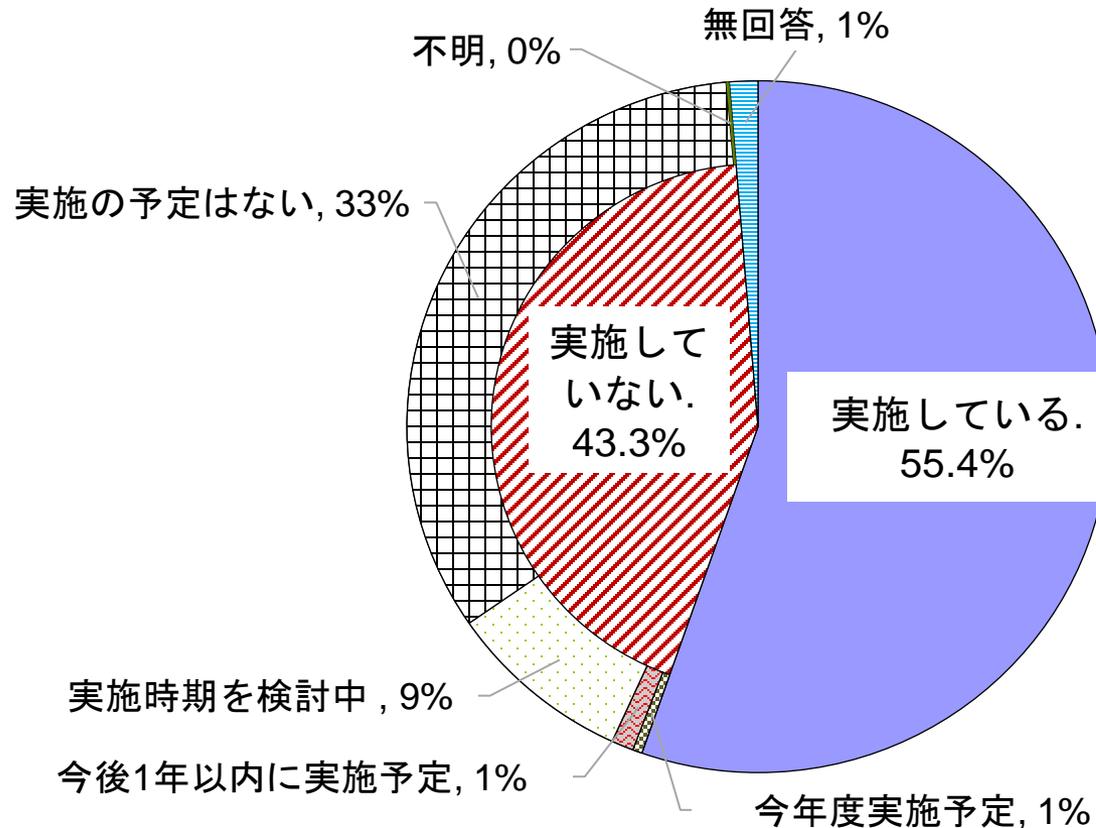
回答者のISO14000s認証の取得状況(単一回答) N=1,378



従業員数は300人以下であるという回答者が半数以上であった。「ISO14000s認証を取得している」と「今後取得する予定」という回答者が半数以上であった。

3. 結果 社内研修の実施状況

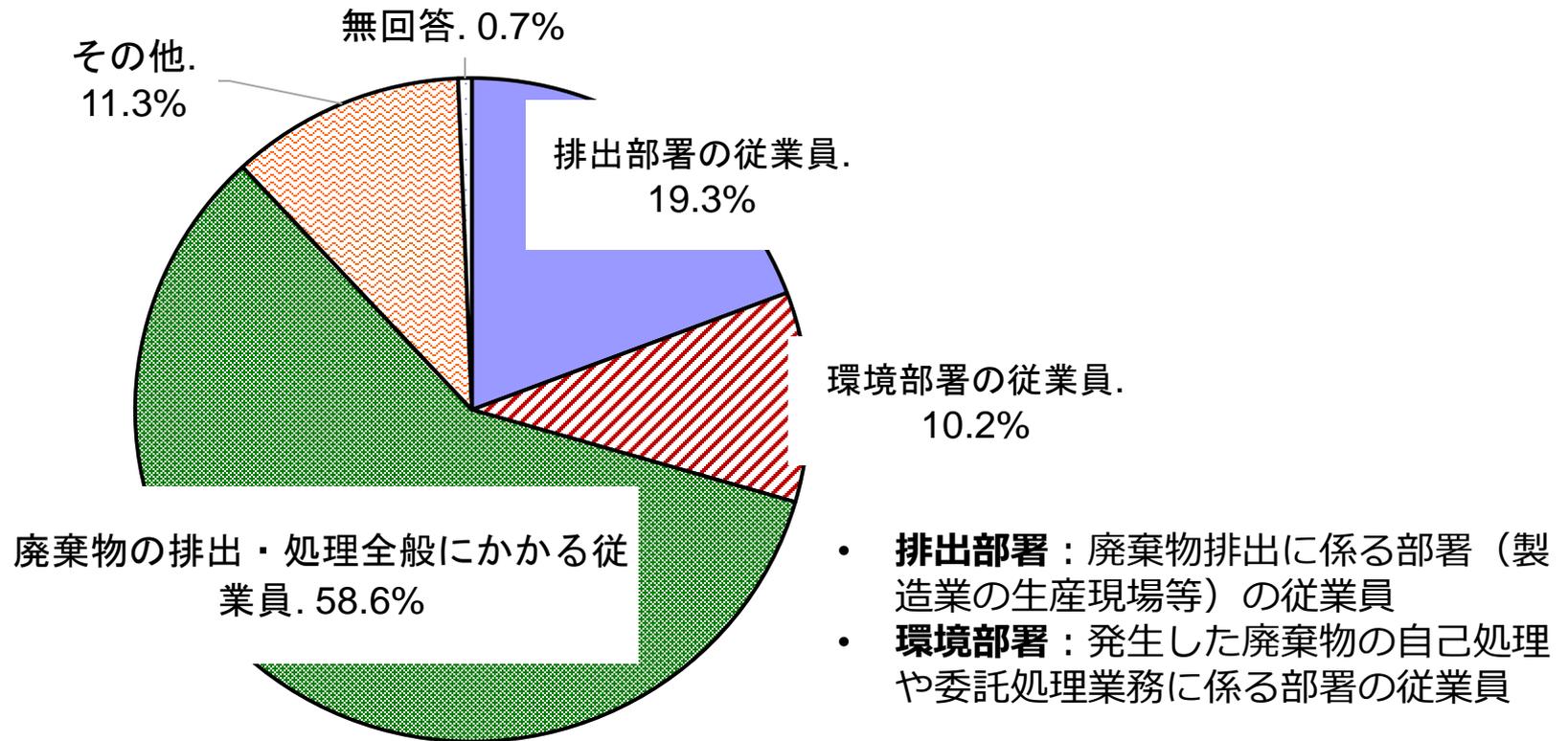
回答者における環境・廃棄物処理に関する社内研修の実施の有無及び今後の実施予定(単一回答) N=1,378



環境・廃棄物処理に関する社内研修を実施している、もしくは、検討しているという回答者の合計は、約7割であった。 9

3. 結果 社内研修の実施状況

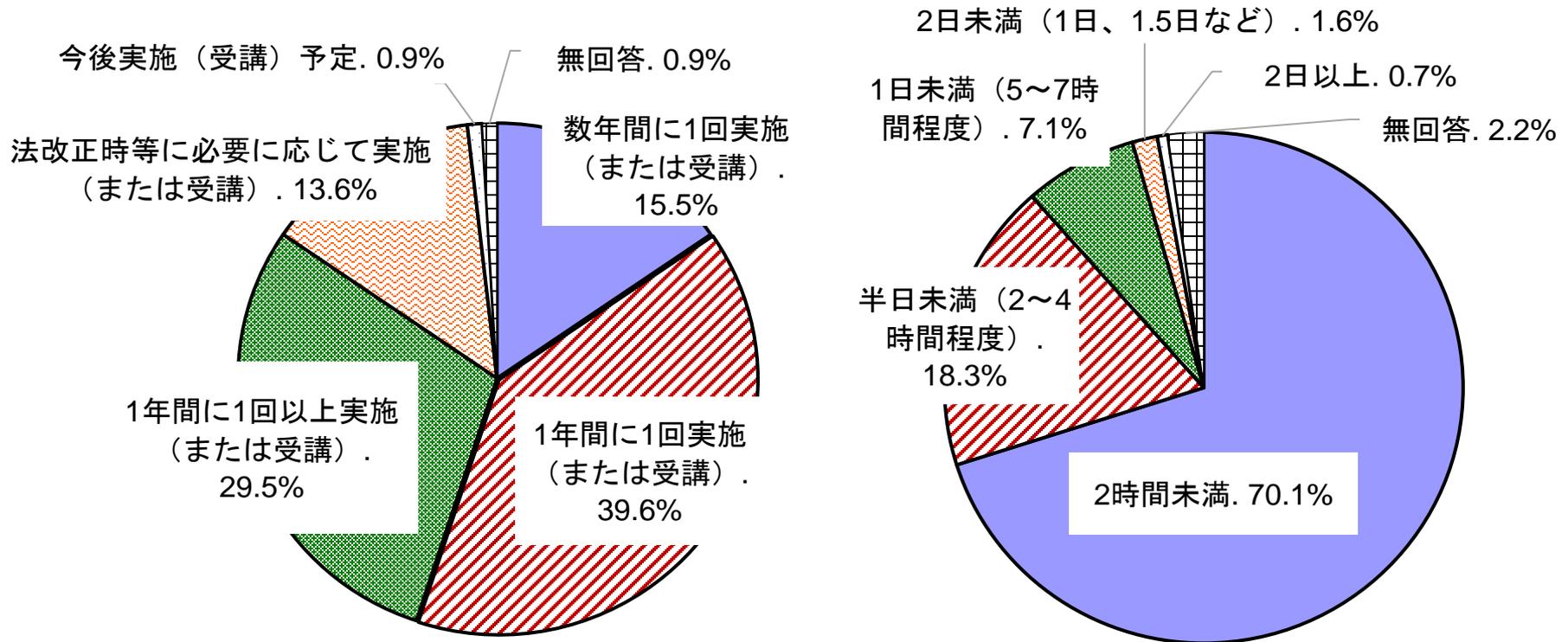
社内研修の対象者(単一回答) N=774



廃棄物排出に係る部署や環境部署に限定せず、**廃棄物の排出・処理全般に係る従業員に社内研修を実施しているという回答が最も多かった。**

3. 結果 社内研修の実施状況

社内研修の実施回数、実施時間(単一回答) N=774

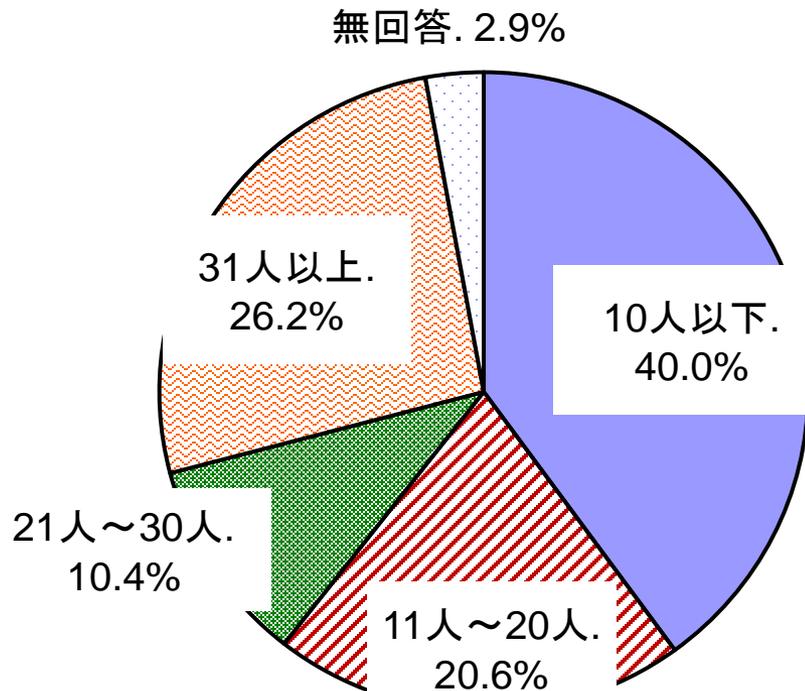


「1年間に1回実施 (または受講)」という回答が最も多かった (39.6%)。研修時間は「2時間未満」が最も多かった (70.1%)。

定期的に短時間で社内研修を実施している場合が多かった。

3. 結果 社内研修の実施状況

社内研修の受講人数(単一回答) N=774

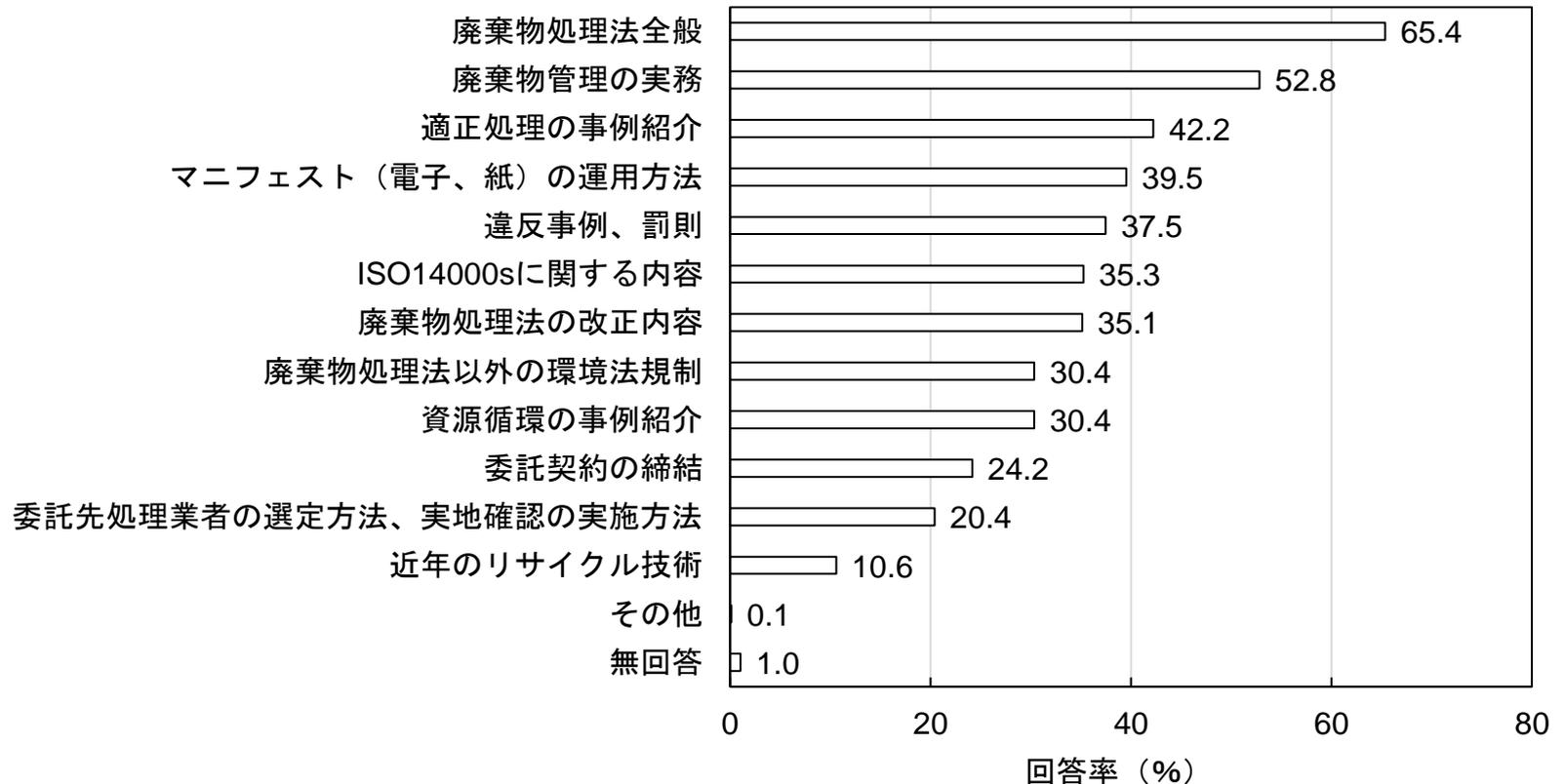


小人数で社内研修を実施している場合が多かった。

受講人数は「10人以下」が最も多かった(40.0%)。

3. 結果 社内研修の実施状況

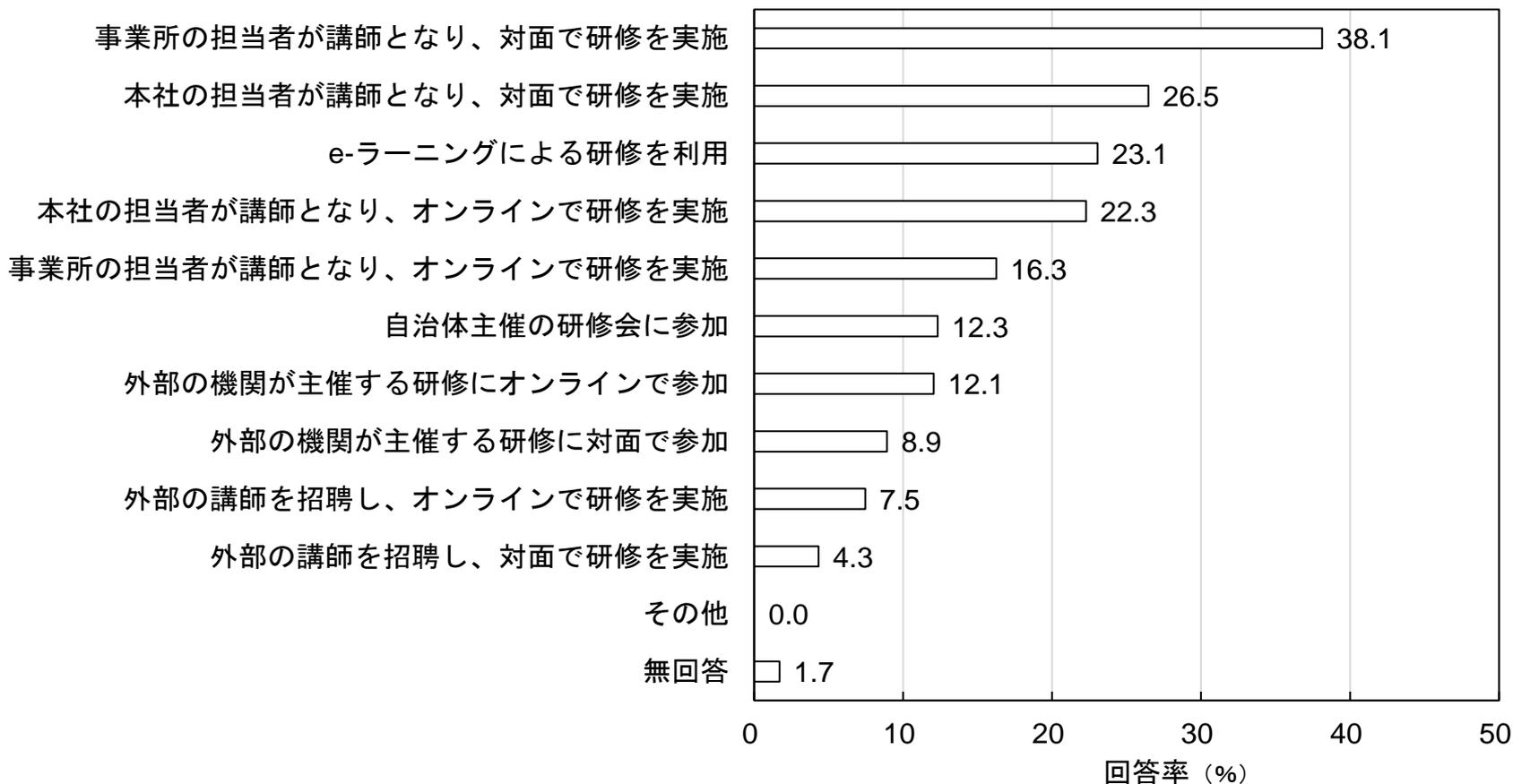
社内研修の内容(複数回答) N=774



社内研修の内容は、**廃棄物処理法全般**や**廃棄物管理の実務**と回答した割合が半分以上である。

3. 結果 社内研修の実施状況

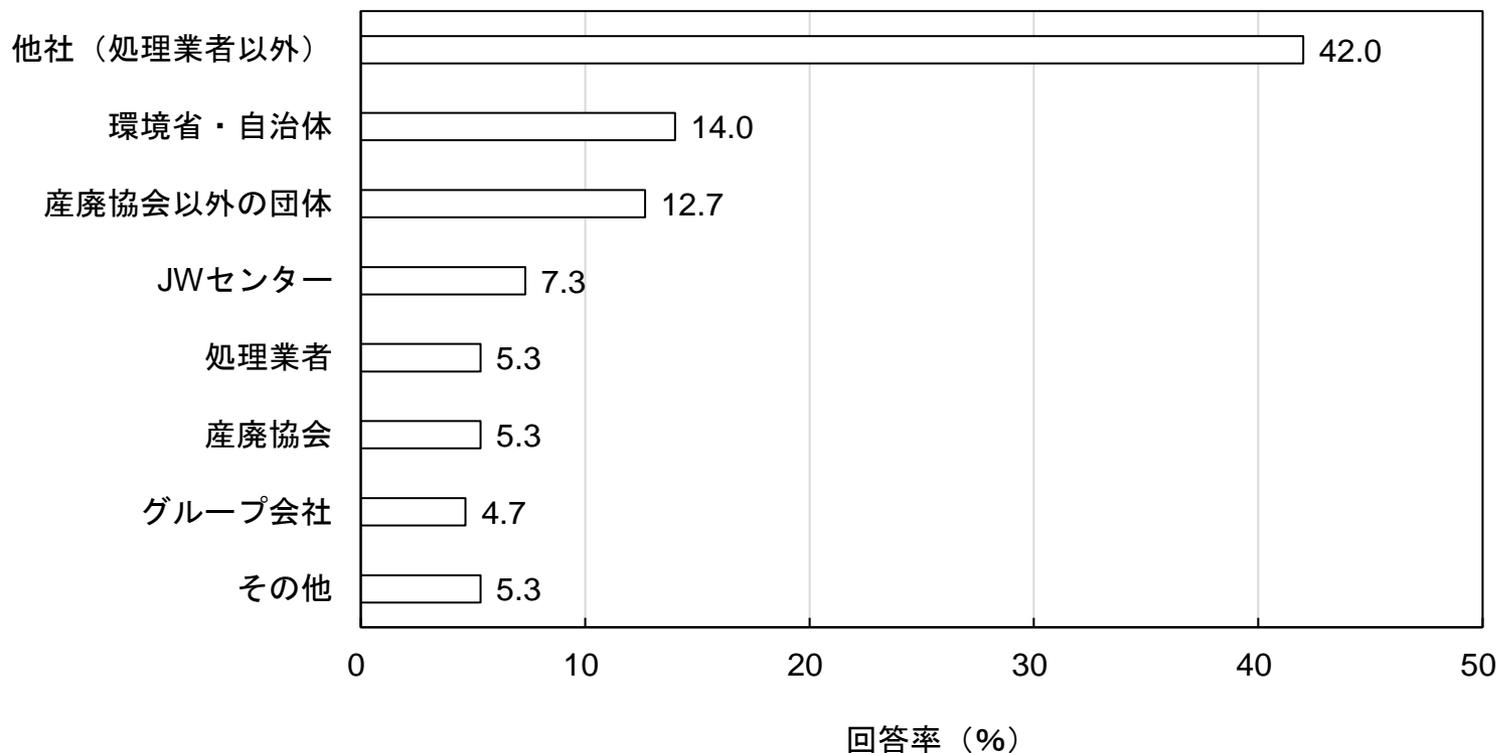
社内研修の開催方法（複数回答） N=774



社内研修は、**社内の担当者が対面で実施している**という回答が多かった。

参考資料

外部機関が開催する研修会の主催者（複数回答） N=150



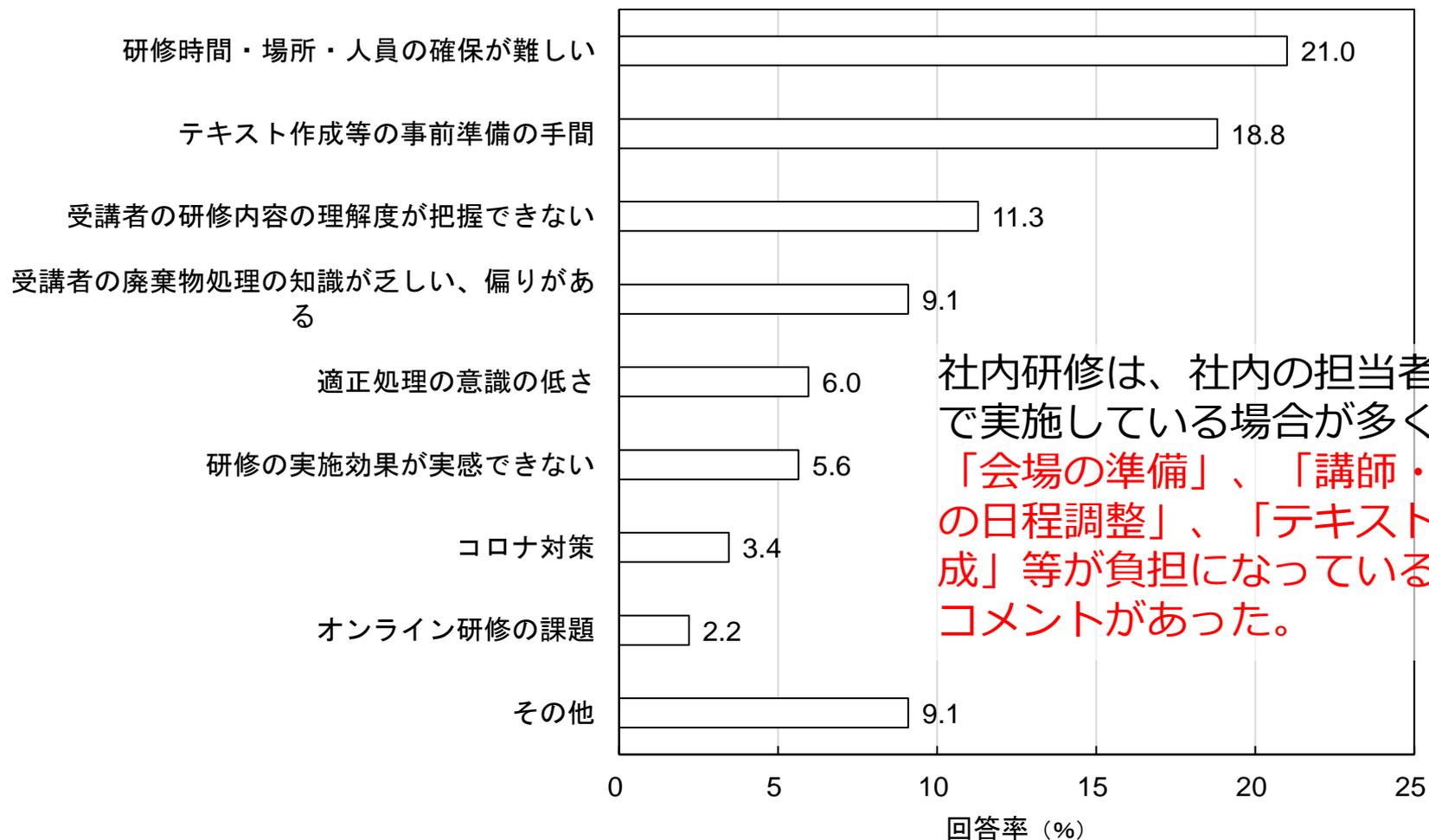
外部機関が開催する研修会の主催者は、

他社（処理業者以外） ※という回答が最も多かった。

※コンサル会社、セミナー会社、メーカー、電力会社 等

3. 結果 社内研修で苦勞すること

苦勞すること(複数回答) N=319



3. 結果 社内研修で苦勞すること

コロナ禍に関連した社内研修の苦勞についてのコメント

開催が困難

- 集合教育の開催が難しい。
- 社内研修が実施できていない。

大人数での開催が困難

- 対象者全員を一度に招集できない。
- 大人数での開催ができない。

長時間の開催が困難

- 長時間講習がやりづらい。
- 限られた時間内での教育。
- 質問時間等多く取れない。

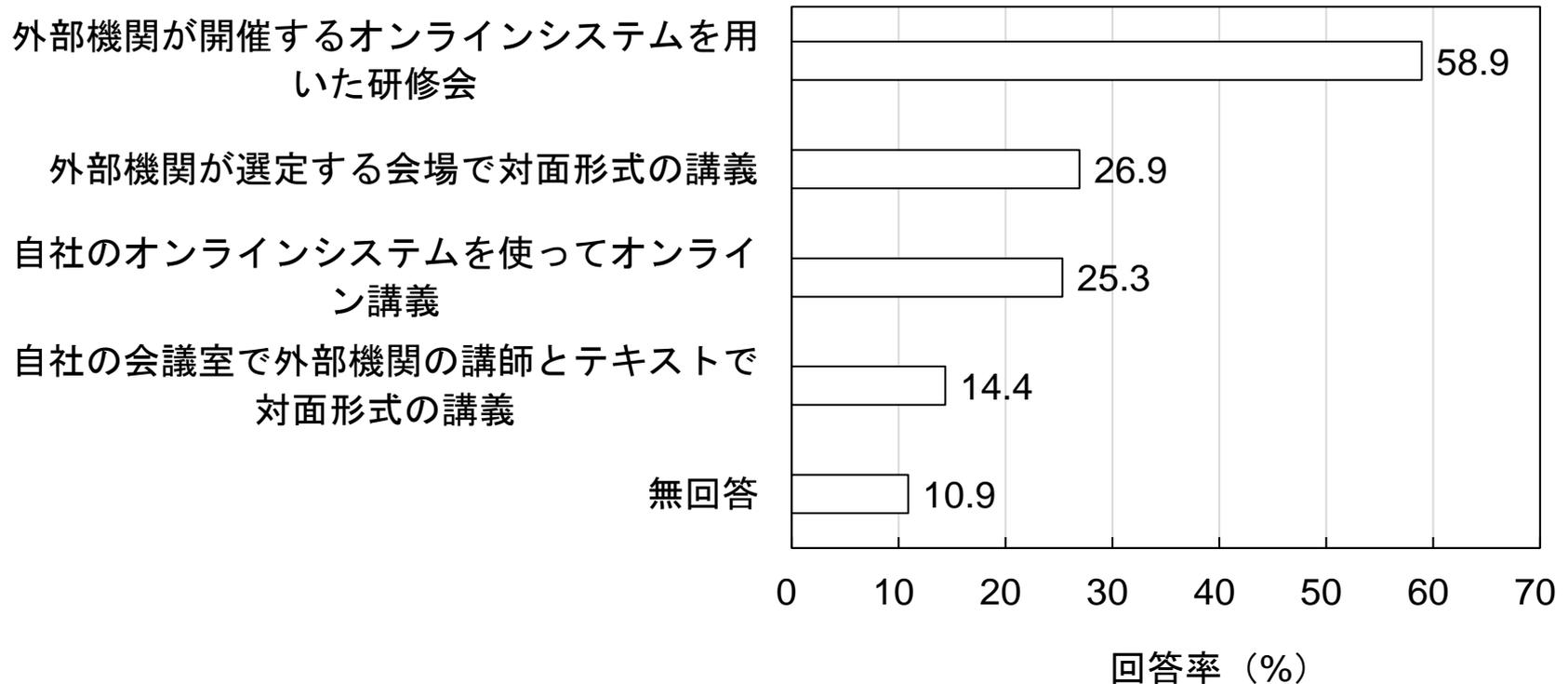
対面での開催が実施できないことによる影響

- 研修効果が見えづらい。

コロナ禍の影響で、新たに社内研修の課題が発生していた。

3. 結果 参加しやすい開催形態

社内研修として参加しやすい開催形態(複数回答) N=1,378

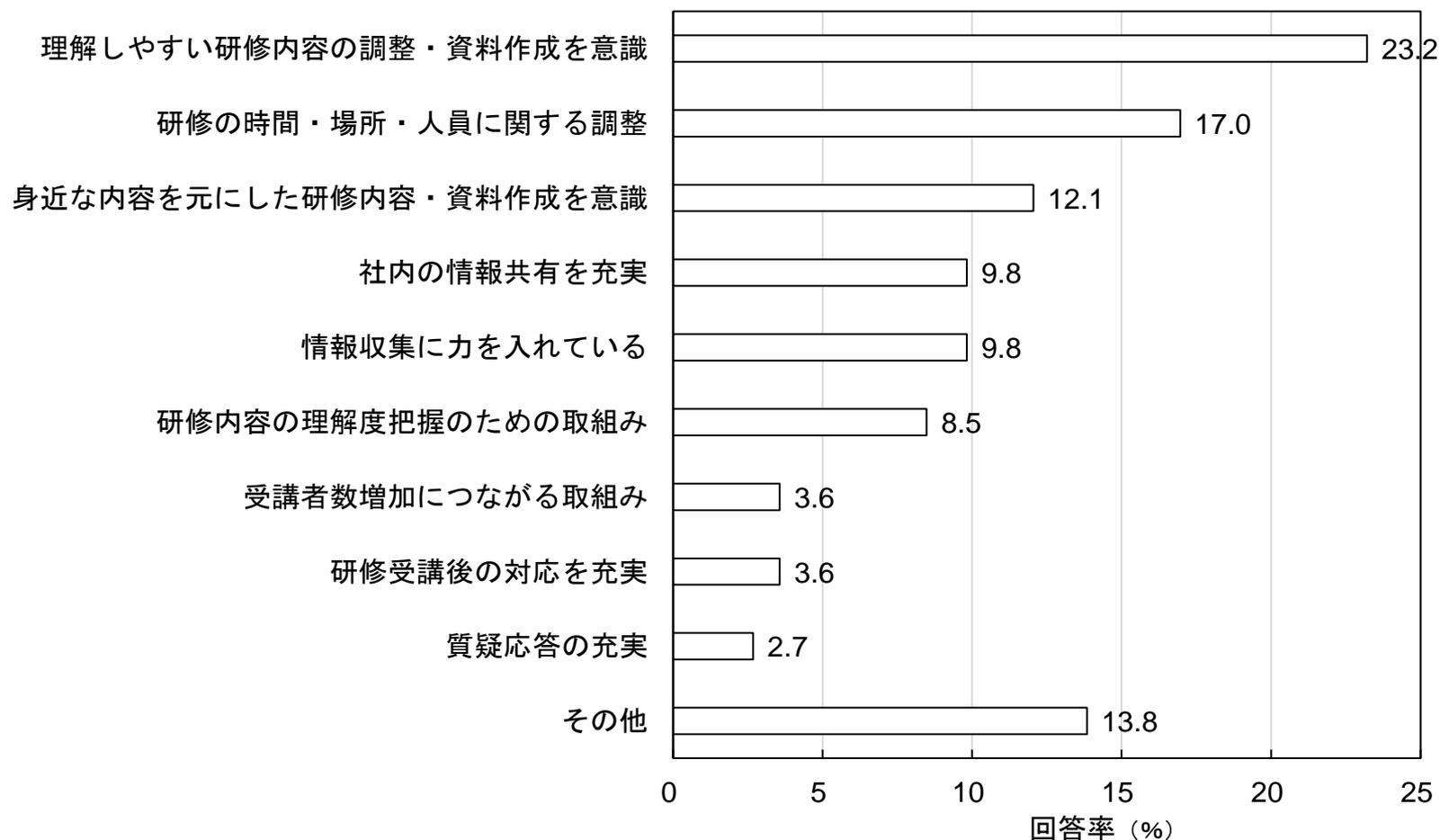


- 研修内容の調整や研修会の場所・日程の調整が負担となっている
- コロナ禍における対面での研修会の開催が困難

⇒上記の要因により、「外部機関が開催するオンラインシステムを用いた研修会」の需要が高まったと思われる。

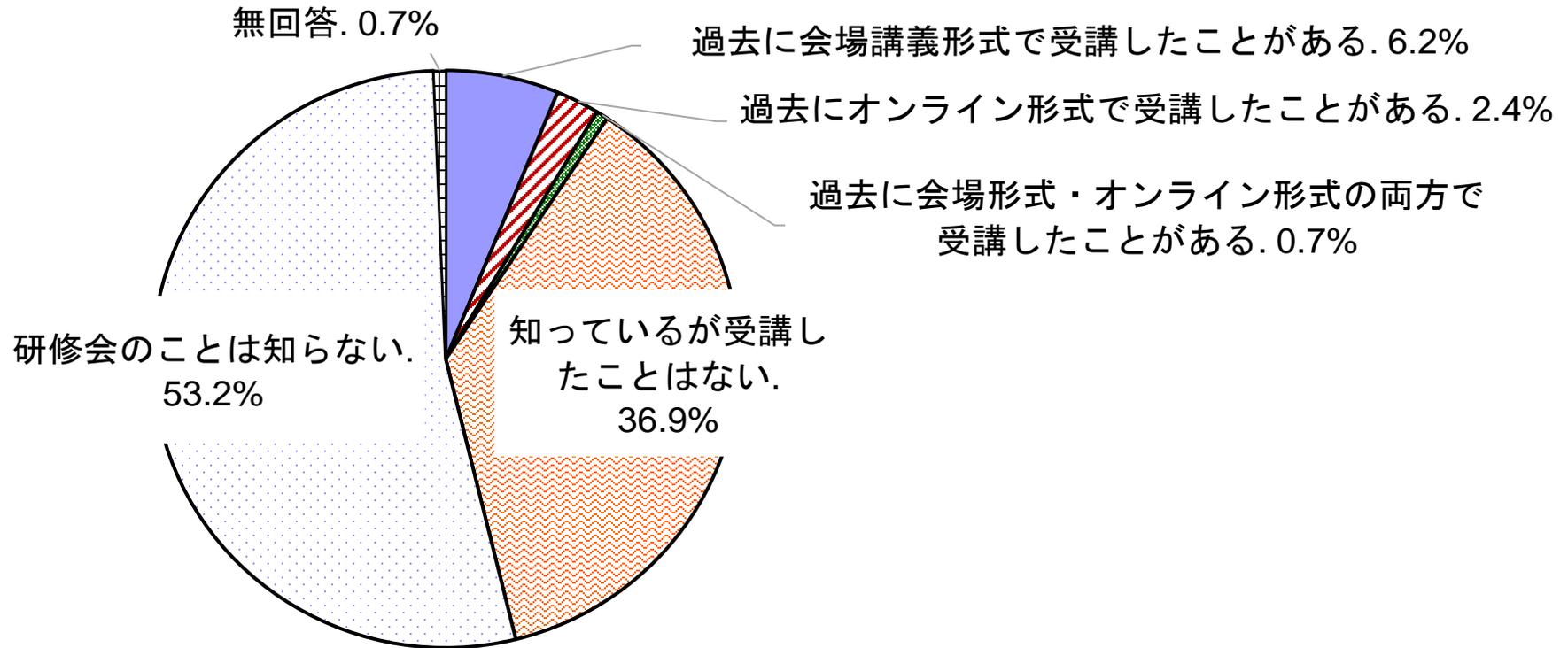
3. 結果 課題解決のための工夫

課題解決のために工夫していること(複数回答) N=224



3. 結果 JWセンターのマネジメント研修会

受講経験の有無(単一回答) N=1,378

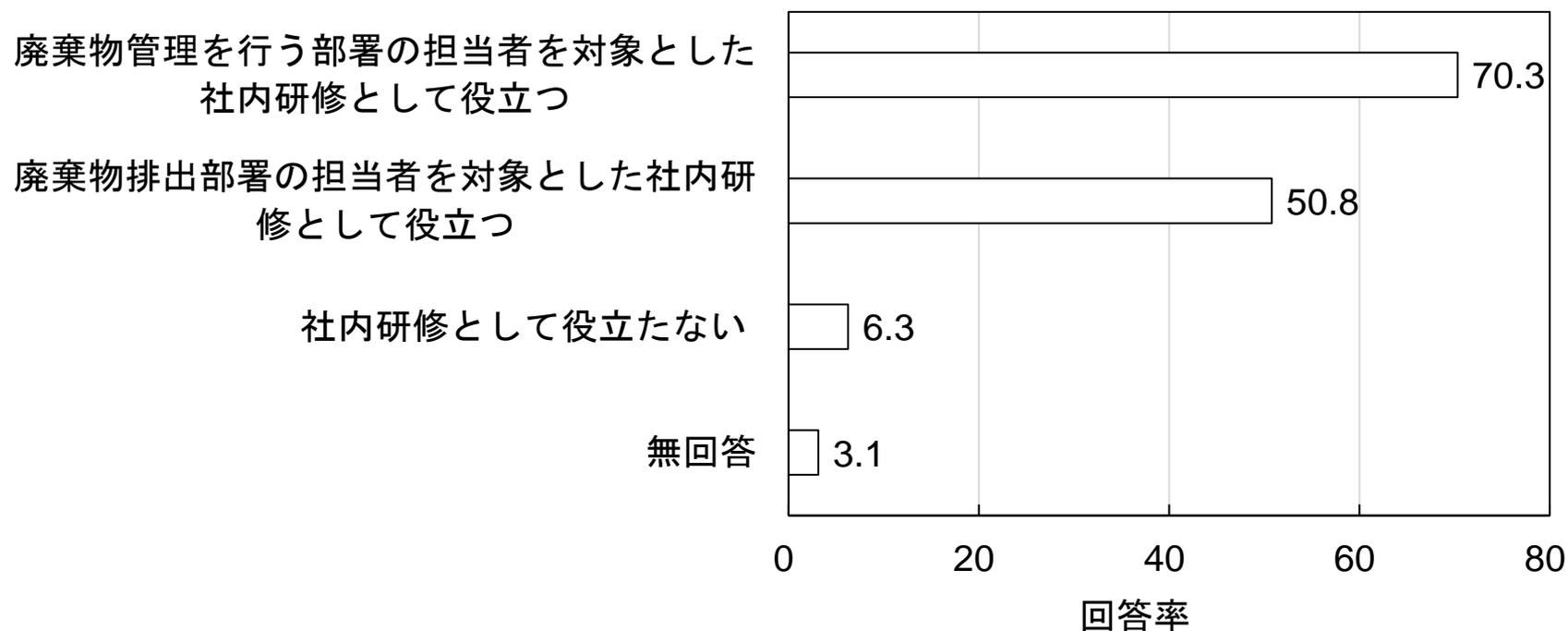


マネジメント研修会を受講したことがあるという回答は少なかった。
半数以上の回答者がマネジメント研修会を知らなかった。

3. 結果 JWセンターのマネジメント研修会

マネジメント研修会が社内研修として役立つか(複数回答)※

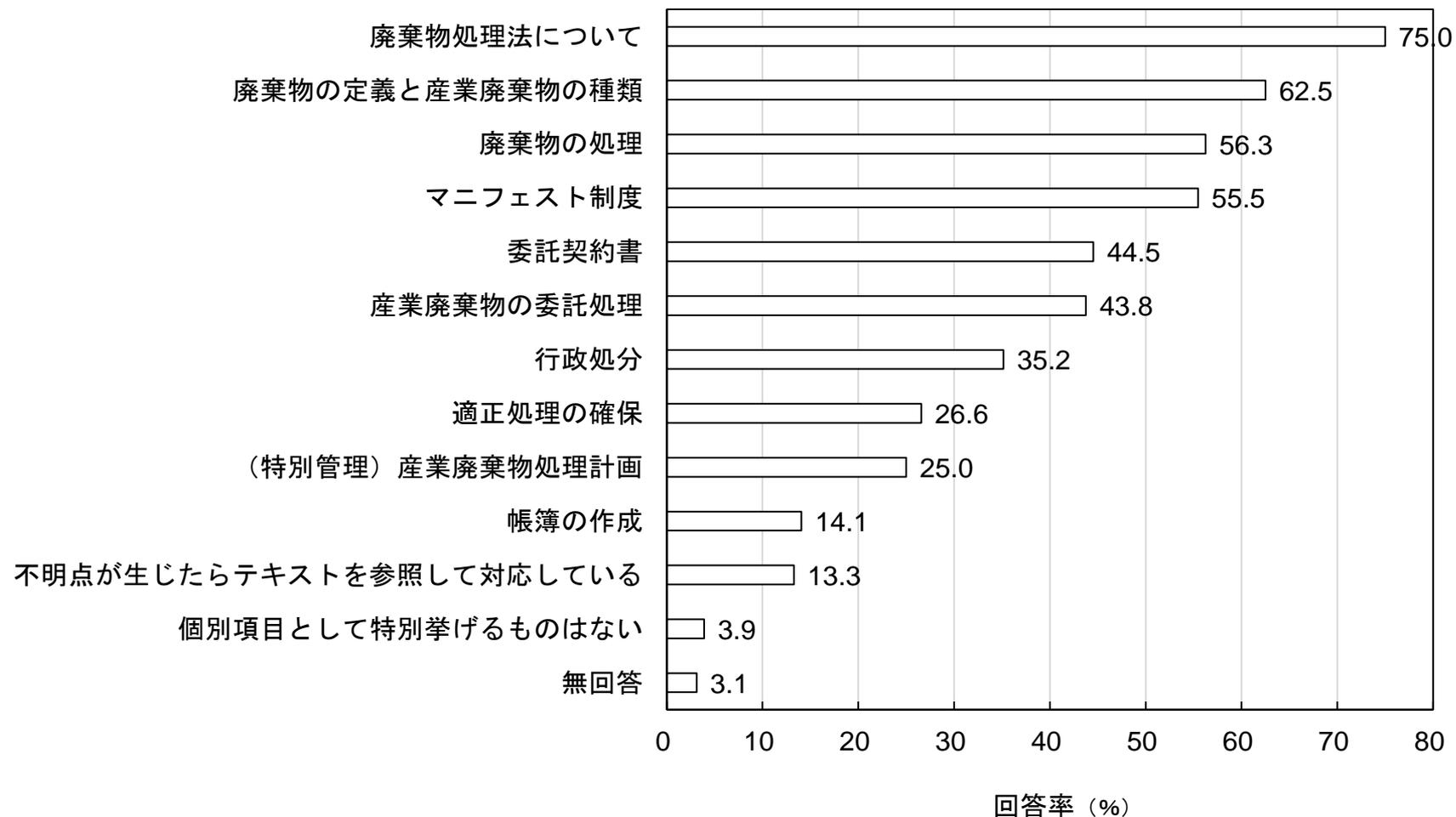
N=128 ※マネジメント研修を受講したことがあるという回答者の回答のみ集計。



マネジメント研修会の受講者の多くは、研修会の内容が自社の社内研修として役立つと考えている。

3. 結果 JWセンターのマネジメント研修会

マネジメント研修会で役立った内容(複数回答) N=128



3. 結果 JWセンターのマネジメント研修会

JWセンターの講習会・研修会の開催方法・周知に関する要望

- 講習会案内などをメールで案内してほしい。
- 研修会のことは知らなかったのでEメールでの周知等を行って欲しい。
- メール等で情報提供していただければ、うれしく思います。
- いつどこで実施しているか、定期的に連絡して欲しい。
- 講習会、研修会への参加アナウンスを頂ければ幸いです。
- 定期的な講習会があればご案内下さい。
- オンライン講義の紹介を定期的にお願ひします。

マネジメント研修会の内容が社内研修として役立つものであるのにも関わらず、受講したことがあるという回答者が少ない理由は、マネジメント研修会の開催日程等の情報が伝わっていないことが要因の一つであると思われる。

4. まとめ

■ 社内研修の実施状況について

- 小人数・短時間で定期的に社内研修を実施している事業者が多かった。
- 社内研修は、社内の担当者が対面で実施している場合が多かったが、コロナ禍の影響で対面での研修に関連した課題が発生しており、実際に事業者が参加しやすいと考えている開催形態は、「外部機関が開催するオンラインシステムを用いた研修会」であった。
- オンライン研修は、コロナ禍での感染拡大防止のためだけではなく、社内研修の時間・場所の調整の負担を軽減する目的でも活用されていると思われる。

■ JWセンターのマネジメント研修会について

- マネジメント研修会の受講者の多くは研修会の内容が自社の社内研修として役立つと考えていた。
- マネジメント研修会の開催時期、研修内容に関する周知に力を入れたい。

【謝辞】

アンケート調査にご協力いただいた排出事業者の皆様
に感謝申し上げます。